

2018 年度

派遣留学報告書

実習先 ウラジオストク国立経済大学

実習期間：8 月 28 日（火）～12 月 27 日（木）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21017061
櫻澤日奈子

目次

1 留学・研修先及び実習期間	3
2 留学・研修先概要	3
3 留学・研修目的	3
4 留学・研修内容	
4-1 留学・研修のスケジュール	4
4-2 留学・研修の詳細	5
5 当初目的・目標への達成度	10
6 反省・課題	11

謝辞

付録

毎週の授業、コースの詳細な記録

1 研修先及び実習期間

研修先：ウラジオストク国立経済大学

研修期間：平成 30 年 8 月 28 日（火）～平成 30 年 12 月 27 日（木）

※12 月 27 日（木）に帰国

2 研修先概要

(1) 大学について

ウラジオストク国立経済大学は 1987 年に開学した。中央キャンパスはウラジオストクの市内中心部に位置している。8つの学部を擁し、学生数は 1 万 5000 人を数え、学士課程は 4 年間である。法科大学院、修士課程、博士課程に進学し、さらに高度な専門教育を受けることもできる。学内には複合スポーツ施設（屋内プールとトレーニング体育館）と芸術スタジオシアターがある。また、屋内温室庭園や学生用のカフェ・食堂もある。大学専用の学生寮は 1200 名収容で、ロシア国内出身の学生と外国人留学生が居住している。また、ウラジオストク国立経済大学は、ウラジオストクにおける最高水準の教育機関の一つであり、ロシア連邦教育省からいくつもの賞を受けている。ロシア国内全体の大学格付けでは 550 大学中の 63 位であり、サービス業の専門家を養成する大学の格付けでは全国 1 位である

(2) 大学で行われている教育について

ウラジオストク国立経済大学は諸外国の大学と提携している（アメリカ、日本、中国、韓国、ニュージーランド、オランダ、スペイン、ブルガリア、イタリア）。また、アメリカ、ニュージーランド、中国の複数の大学と連携し、卒業時に 2 つの大学から同時に学士学位を取得できる共同学位（ダブルディグリー）プログラムを実施している。

3 研修目的

今回の研修には、ロシア語の能力を上げることと、現地の方と積極的にコミュニケーションをとるという大きな目的があった。2 年後期から語学の講義が減少することもあり、ロシア語が日常的に聞ける環境で勉強したいと思い留学した。さらに、日本にいとあまり実感できない語学力の上昇も分かりやすく、勉強意欲が増す。細かいニュアンスを伝えられないため、物怖じせずに自分の意見をはっきり伝えることが、今回の留学の最大の課題だと考えた。

また、現地で生活することでロシア人の文化や伝統を知り、日本と比較することで両国の良い点、改善点を見つけることも今回の留学の目的だ。初めて海外に行くという事で、外国から見る日本がどのような国なのか見てみたいと考えた。

4 研修内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 研修のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日(曜日)	午前	午後
8	28(火)		ウラジオストクに到着、入寮
	29(水)	大学案内	
	30(木)	健康診断	市内観光
	31(金)	クラス分けテスト	
9	2(日)	極東大学見学	
	3(月)	講義開始	
	10(月)	クラス分け決定	
	15(土)	トカレフスキー灯台	
	21(金)		日本語会話クラブ
	27(木)		美術館
	30(日)	トラ祭り	
10	5(金)	留学生オリエンテーション	
	12(金)	スポーツ大会	
	13(土)	スポーツ大会	
	20(土)	水族館	
	28(日)		オペラ鑑賞
	31(水)		動物園
11	3(土)		バレエ鑑賞
	5(月)	初雪	
	15(木)		留学生発表会
	24(土)		スケート
12	8(土)		アイスホッケー観戦
	13(木)		音楽テスト
	14(金)		歴史テスト
	17(月)		地理テスト
	18(火)	文法・リスニングテスト	美術テスト
	19(水)	読み取りテスト	

	20(木)	テスト	お茶会
	21(金)	遠足	
	27(木)	帰国	

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載されている各項目の内容は以下のとおりである。

●大学案内

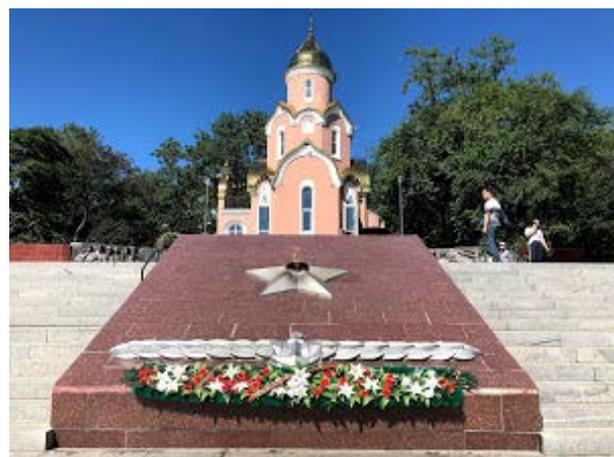
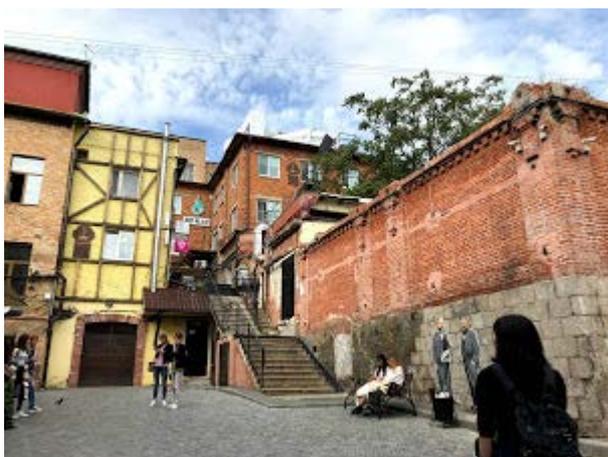
大学内のカフェや施設を教えて頂いた。その後寮に戻り部屋の家具などに不備が無い点検をした。

●健康診断

大学内の病院へ行きレントゲンや心音検査などを行った。

●市内観光

ウラジオストクの市街地のレストランや映画館、主な観光名所を案内していただいた。



●クラス分けテスト

能力別にクラス分けをするためのテストを受けた。コンピューターを使ったテストで問題数が多かった。

●極東大学見学

極東大学へ行き、敷地内の庭や海岸などを散策した。大学内にある中国料理店へ行き食事をした。

●トカレフスキー灯台

大学からバスで1時間ほどのところにある灯台に案内していただいた。バス停からも2, 3

0分歩き、かなり遠かった。しかし、景色がとてもよく必ず行くべきだと感じた。



●日本語会話クラブ

毎週金曜日の夜に行われる、日本語会話クラブへ行った。そこへは、ロシアへ留学している日本人や、日本語を学んでいるロシア人が集まり、交流をしていた。



●美術館

ウラジオストク市内の美術館へ行った。美術館の方から絵の説明をしていただき、その説明を日本語を学んでいるロシア学生に訳してもらった。

●トラ祭り

虎の保護活動を広めるため、顔に虎をイメージしたペイントや旗を持ち中心街でパレードを行うイベント。多くの参加者がオレンジ色の服を身に着けていた。



●留学生オリエンテーション

留学生たちの交流を深めるためのイベント。ウラジオストク駅から電車に乗り、海岸付近の公園間へ行った。そこで様々な国の留学生たちとゲームをした。

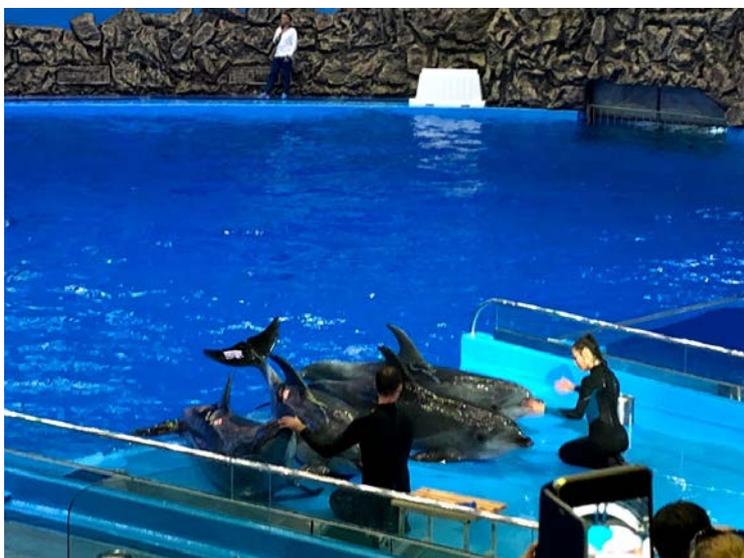
●スポーツ大会

ВГУЭСや極東大学で行われたスポーツ大会。留学生も参加することが可能だった。日本人留学生も参加したため、美術の時間に作った応援ポスターを持ち、客席で応援をした。



●水族館

ウラジオストクにはロシア最大級の沿海州水族館があり、日本では見ることの出来ない珍しい生き物が多くいた。水族館と博物館を合わせたような施設でとても見応えがあった。



●オペラ鑑賞

劇場でオペラを鑑賞した。大迫力の歌声だった。ロシアならではの文化で、指定席であっても空席らしい席があると移動し、新しい席で見ている人がいた。

●動物園

山奥にあるサファリパークに行きロシアに生息する様々な動物を見た。かなり近くで動物を見ることができ、シカには餌を与えることもできた。子熊もおり、柵なしで対面することが出来た。



●バレエ鑑賞

劇場でバレエを鑑賞した。劇場でバレエを見ることは初めてだった為とても新鮮だった。日本人の出演者もいた。本場ロシアでバレエを鑑賞できる機会はなかなかない為、とても貴重な体験ができた。



●留学生発表会

各国の留学生が、歌や踊り、武道を披露する発表会があった。日本人留学生は、ロシアの歌を2曲歌った。

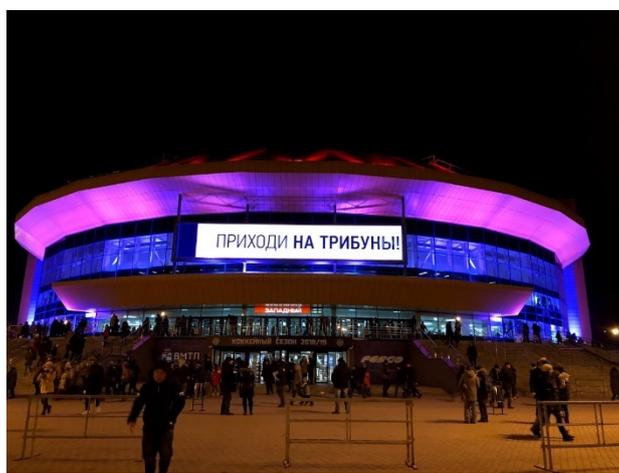


●スケート

韓国人留学生やロシア人学生とスケート場へ行った。まだ屋外のスケート場はやっていないため、屋内にスケート場へ行った。幼い子供も多くいて、スケートが盛んな国だと改めて感じた。

●アイスホッケー観戦

希望者でアイスホッケーの試合を観戦した。日本ではあまりメジャーではないためしっかりと試合を見たことはなかったが、とても迫力があり、面白かった。試合の合間に流れる音楽は、生演奏だったため驚いた。



●お茶会

大学の先生がオリジナルでブレンドしたお茶と、お菓子でお茶会をした。韓国の留学生と合同で行い、ロシア、韓国、日本の歌を歌った。

●遠足

バスに乗り、ウィンタースポーツの楽しめる施設へ行った。韓国人留学生と合同で行き、スノーチューブをした。湖が凍っており、その上と歩けたのは良い経験だった。

5 当初目的・目標への達成度

当初の目的には、大きく2つの目標をあげた。一つ目は、ロシア語の能力を上げることだ。留学以前に比べれば、能力は上がったと言える。しかし、まだまだ聴き取れない内容も多く、今以上の学習が必要だと感じた。また二つ目の現地の方と積極的にコミュニケーションをとるという目標は、50%くらいの達成率だ。なかなか自分のロシア語力に自信が持てず、意見を言えないことが多かった。また、授業中でもあまり積極的に発言ができなかった。

6 反省・課題

反省点は、授業中や生活の中で積極的にロシア語を話せなかったことだ。今後は、間違いや失敗も学習の一部だと考え、さらに積極的に発言していきたい。また、文法や単語などの学習も続けていき、更なる語学力のアップを目指したい。

謝辞

この度、留学を受け入れて下さったウラジオストク国立経済大学の方々や現地での生活を支え指導して下さった先生方、現地での観光案内などをしてくださった学生の皆様、その他関係者の皆様に深くお礼申し上げます。またロシア語の指導や留学をサポートして下さった神長英輔先生、アレクサンドル・プラーソル先生に心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により今回の留学が実現し、有意義な時間を過ごせたことを心から感謝いたします。

付録 毎週の授業、コースの詳細な記録

以下の授業表をもとに毎週の授業の詳細について述べていく。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 限目	ロシア語 (文法)	ロシア語 (話法)	ロシア語 (読み)	ロシア語 (読み)	ロシア語 (会話)
2 限目	ロシア語 (会話)	ロシア語 (聞き取り)	ロシア語 (会話)	ロシア語 (聞き取り)	ロシア語 (文法)
お昼休み					
3 限目	地理	美術		音楽	歴史

●ロシア語（文法）

教科書の問題を解きながらロシア語の文法を学ぶ授業。格変化などはこの授業で多く学んだ。

ロシア語で説明を受けるため理解することが難しいこともあったが、使い方をその都度出題されながら、ゆっくりとしたペースで学ぶことができた。また、わからない箇所も先生が理解できるまで説明して下さったので問題は無かった。

●ロシア語（話法）

日常会話で使う会話表現や手紙の書き方などを学んだ。パワーポイントのイラストや画像と使いながら、授業が進められた。

●ロシア語（会話）

ペアを組んで教科書の例文を読み、それを用いて会話文を作ることが多かった。学習したテーマをまとめ、パワーポイントを用いて発表したり、ポスターを描いたり、楽しんで受けることができる内容だった。

●ロシア語（読み）

教科書にあるロシア語の長文を読み進めながら授業をおこなう。ほぼ毎回の授業で辞書は使わず、先生が分かりやすい単語に言い直したり、英語を使ったりすることで授業を進められた。

●ロシア語（聞き取り）

ほぼ毎回の授業で単語テストが行われた。教科書の内容が読み上げられ、それについての問題を解いた。

●芸術

ロシアの民芸品や絵画などを学んだ。毎回授業中に課題が出され、作画や工作をした。

●音楽

ロシア語の歌を歌ったり、楽器を演奏したりした。歌を発表する機会があり、それに向け練習をした。国歌を歌うこともあれば、若者に人気の歌を歌うこともあった。

●歴史

ロシア語での歴史の学習は大変難しく予習、復習の時間が多く必要だった。しかし、ロシアの英雄の話など興味深いテーマも多くあった。

●地理

地理の授業ではウラジオストクがあるロシア極東部に関することについて学んだ。ロシアの地理や気候の特徴、ロシアに生息する動物、鉱物や天然資源などについて学んだ。